

平成31年度
事務事業別予算概要書

東 広 島 市

はじめに

1 事務事業別予算概要書について

本概要書は、東広島市の行政経営システムにおける事務事業のPDCAサイクルの機能を向上させる取り組みの一環として、平成31年度の予算編成段階において、特に市民生活への影響が大きい232事務事業を対象に、事務事業シート（計画）を作成し、広く市民等と共有するために作成したものです。

2 事務事業シート（計画）の構成

事務事業ごとに次の項目を設け、簡潔に記入しています。

- (1) 事務事業に関する基本情報
- (2) 事務事業の概要・活動計画・指標
- (3) コスト情報

なお、特別会計の事務事業については、予算細目や財源内訳など本様式による記入が難しいものもあるため、複数の事務事業を一括して1枚のシートを作成する又は様式を修正する等、できるだけ分かりやすくなるように記入しています。

3 シート記入項目の説明

(1) 事務事業に関する基本情報

項目名	項目の説明
事務事業番号	3桁の施策コード+事務事業の番号を掲載しています。
新規・継続	平成31年度から新規事業として実施するものは「新規」と記入しています。過年度から継続しているものや事務事業の統合等により事務事業名が新しいものになった場合は、「継続」と記入しています。
事務事業名	予算に関する説明書に掲載されている事務事業名を記入しています。
予算科目 (事務事業名の右隣)	会計区分、款項目を記入しています。
ハード・ソフト別 (予算科目の右隣)	投資的経費のみの場合は「ハード」、投資的経費以外の経費で構成される場合は「ソフト」、投資的経費とそれ以外の経費が混在する場合は「混在」と記入しています。
所属	当該事務事業を所管する所属名を記入しています。(複数の部署が所管している場合は、連名で記入しています。)
総合計画施策体系	事務事業が、第四次東広島市総合計画の、どの「まちづくり大綱」、「まちづくり目標」、「施策」に位置づけられるかについて、「4 総合計画施策体系」の表の「1-1」等を記入しています。 ※ 複数の施策等に位置づけられる事務事業については、その中で重きを置いている施策等を記入しています。

(2) 事務事業の概要・活動計画・指標

項目名	項目の説明
目的	事務事業の目的（次項で記入する対象をどのようにしたいか、対象のあるべき姿）を簡潔に記入しています。
対象	当該事務事業に係る対象となる人、もしくは対象となるものを記入しています。
事業の概要及びH31活動計画	事務事業の概要を、事務分掌に掲載されている主な業務ごとに手段、手法等を記入し、また、平成31年度における活動計画を記入しています。
指標の種類	<p>【活動指標＝インプット input】 サービスの生産、提供等を行うための活動など、事業の活動量を定量的に示す数値を設定しています。 (例) 広報回数、会議回数</p> <p>【結果指標＝アウトプット output】 サービスの生産、提供、利用量など、事業を実施した結果を定量的に示す数値を設定しています。 (例) 参加者数、整備箇所数、整備面積</p> <p>【成果指標＝アウトカム outcome】 対象が受けた良い変化、影響、利益、恩恵等のプラスの変化など、事業の効果を定量的に示す数値を設定しています。 (例) 満足度、健康な人の割合、年間事故発生数</p> <p>※ 計画策定時に設定した指標について、市民に分かりやすい明確な指標があれば、適宜、変更しています。</p>
活動・結果指標	<p>前項で記入した「活動内容」の推移を示す基礎的な数値があれば、活動指標や結果指標について平成29年度分の実績及び平成30、31年度の目標値を記入しています。</p> <p>※ 該当する項目がない場合、成果指標と重複する場合は空欄としています。</p>
成果目標	<p>成果指標を設定した際の考え方、算出方法を記入しています。</p> <p>また、次項の「成果指標」欄に成果指標を記入することが困難な場合は、数値上では現れにくい成果の変化についての所見を記入しています。</p>
成果指標	<p>成果指標を示す基礎的な数値があれば、平成29年度の実績及び平成30、31年度の目標値を記入しています。</p> <p>また、平成33年度以降の計画終了年度における目標値の設定があるもの等は、併せて記入しています。</p>

(3) コスト情報

項目名	項目の説明
事業費	平成29年度の決算額及び平成30、31年度の予算額を千円単位で記入しています。(平成30年度の予算額は、当初予算+3月補正予算の合計額。決算額については千円未満を四捨五入し、財源内訳については、「国県支出金」、「地方債」、「その他」は千円未満を切捨て、「一般財源」によって端数調整しています。)

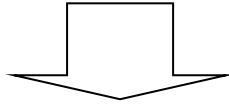
【簡易版様式】

内部管理業務等で構成され、指標設定が明確に示し難い事務事業については、今回の事務事業シート（計画）は作成せず、平成31年度決算時に簡易版様式の事務事業シート（評価）を作成します。

4 総合計画施策体系一覧表

第四次東広島市総合計画の施策体系は、次のとおりです。

将来都市像：未来にはばたく国際学術研究都市 ～ともに育み、人が輝くまち～



まちづくり大綱	まちづくり目標	施策	
個のが発揮でき、 人の力で発展していくまち —一人づくり—	一人ひとりの人権が大切にされる共生のまち 新しい時代を担う子どもたちを育むまち	1-1	だれもが個性と能力に応じて活躍できる地域社会の形成
		1-2	子どもたちの確かな人間力を育成する学校教育の充実
	自らの興味・関心に応じていつまでも学び、 活躍できるまち	1-3	時代に対応した教育環境の整備・充実
		1-4	家庭・学校・地域が連携した青少年健全育成の推進
		1-5	市民が主体となった学習活動の充実
	豊かで多様な人間関係が広がるまち	1-6	生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成
		1-7	市民や地域が主体となって活動できる社会の形成
安全で安心な暮らしを 地域で支えあうまち —安心づくり—	安心して子どもを生み、育てられるまち	2-1	子どもの健やかな成長と子育てへの支援の充実
		2-2	多様な保育サービスの充実
	安心して健康に暮らせる支えあいのまち	2-3	生涯を通じた健康づくりの推進
		2-4	安心で利用しやすい地域医療体制の構築
		2-5	高齢者が生きがいをもって暮らせる環境の整備
		2-6	障害者の自立と社会参加を促進する支援体制の充実
		2-7	地域でお互いが支えあう福祉コミュニティの形成
	災害や犯罪などのリスクに強い安全なまち	2-8	自然災害に強いまちづくりの推進
		2-9	迅速に対応できる消防・救急・救助体制の充実
		2-10	安全な市民生活を守る地域社会の形成
環境と調和した 生活しやすいまち —快適づくり—	魅力ある住環境の整ったまち	3-1	住みよい都市空間の形成
		3-2	緑あふれる都市環境の整備
		3-3	市民ニーズに応じた多様な住宅ストックの形成
		3-4	安全で良質な水の安定的な供給
		3-5	快適な市民生活を支える污水处理の推進
	だれもが移動しやすいまち	3-6	利便性の高い道路網の形成
		3-7	すべての人にとって移動しやすい公共交通網の充実
	環境にやさしいまち	3-8	水や大気等の環境汚染の防止
		3-9	豊かな自然環境の保全と創造
		3-10	地球温暖化防止に向けた取組みの推進
		3-11	ごみ減量化・リサイクルの推進
	東広島らしさを継承し、創造できるまち	3-12	歴史・文化の継承と新たな市民文化の創造
		3-13	東広島らしい景観の形成
交流が盛んな にぎわいのあるまち —活力づくり—	地域特性を活かした活力とにぎわいのあるまち	4-1	農業経営の強化による活力ある農山村の形成
		4-2	豊かな森林の保全と活用の推進
		4-3	特色ある漁業・養殖業の推進
		4-4	地域に根ざした地元企業の活性化
		4-5	地域経済の持続的発展のための産業集積の推進
		4-6	利便性が高く魅力的な商業・サービス業の集積促進
		4-7	働きやすい労働・雇用環境の充実
	大学や試験研究機関などの 知的資源を活かしたまち	4-8	産学金官が連携した新産業の創出
		4-9	大学や学生との交流・連携によるまちづくりの推進
	にぎわいのある拠点のあるまち 交流が活発なまち	4-10	にぎわいある都市拠点・地域拠点の形成
		4-11	国際交流の推進と多文化共生のまちづくりの推進
		4-12	地域資源を活かした交流・集客の推進
		4-13	地域特性を活かした移住・定住の促進
新たな発想を活かした 自立と協働のまち —自立のまちづくり—	市民と行政のパートナーシップづくり	5-1	情報通信技術を活用した地域の活性化
		5-2	多様な市民参画の仕組みづくり
	信頼される行政経営	5-3	市民ニーズに対応したサービスの提供
		5-4	効率的な行政経営の推進